

地域の皆様の健康を守りたい

介護の未来を考える



八女茶や岩戸山古墳で知られる福岡県八女市。ここで地域とともに発展してきた医療法人柳育会を率いる専務理事の柳徳枝氏を、王子ネピア社長の清水紀暁が訪ねました。

柳 遠いところをよくお訪ねくださいました。清水 八女は自然が豊かですね。ここから見える枝垂れ梅が見事です。柳 夫が柳病院を開業したのは1970年です。以来44年間、地域社会の皆様のご要望にお応えするために、二人三脚で走り続けてまいりました。柳病院、八女リハビリ病院、健診クリニック、介護老人保健施設、メディカルフィットネス、デイサービスセンター、訪問看護ステーションなど8施設、柳育福祉ケアハウスと、医療・保健・介

護の基盤を築き、1年前に夫は他界しました。清水 柳会長は懐の深い行動力の方だったと聞いておりますが、一代で築かれたとは大事業です。柳 開業したときは29床、職員数30人でしたが、今は425床、職員も720人になりました。笑顔を保つために！クレドカード導入

清水 2009年に柳病院を移転新築されたそうですね。柳 はい。そのときに経営を長男の柳克司理事長にバトンタッチしたんです。夫婦で力を合わせ、いろいろな改革に取り組んでいます。診療面では、理事長の専門である消化器病の治療をメインに、患者様の負担の少ない内視鏡でのポリプ切除や

腹腔鏡手術で早期回復をめざしています。清水 理事長夫人は、信条を記すクレドカードを導入されたと聞きました。柳 柳育会の基本理念のもと、看護・介護職員は「すべての患者様に笑顔を保つ」をすべての職員に笑顔を保つ」をクレドカードに掲げました。「安全、礼儀正しさ、確実な技術、効率(改善)の行動指針も記し、名札の裏に入れてあります。清水 皆さんが礼儀正しく、笑顔の温かい理由がよくわかりました。柳 看護部長は毎月「笑顔レター」を発行し、職員を褒め、励まし、笑顔の大切さを呼びかけました。看護も介護も仕事柄、笑顔でいられない場面もあります。救急指定病院ということもあるので。清水 そうでしょうが、地道な取り組みは、皆様に伝わっているのでは？柳 そうなんです。年1回行うご利用者様と職員へのアンケートに、成果が表れています。

職員の熱意に勉強させられます

清水 八女リハビリ病院の地域での役割は？柳 近隣からの転院受け入れをスムーズに行い、整形外科や脳外科の患者様の在宅復帰に向けたリハビリを提供しています。

清水 行ってみたい、食

柳 介護老人保健施設が隣接していますが、そばに医療施設があることが利用者は安心ですね。柳 老健のグリーンビュー希望ヶ丘です。在宅復帰をめざす療養棟のほか、デイケアやショートステイを担っています。心のカケアも大切です。食事や治療の一環です。食事やお風呂にできません。ご利用者様と目線を一緒にして看護、介護にあたっています。清水 グリーンビュー希望ヶ丘には若い方もたくさん働いていらっしゃいますね。柳 心強いですよ。若い職員がみんな知恵を出し合って、レクリエーション企画はごにも負けないという自負を持っています。先日は、みなで道の駅に行き、ハンバーグレストランで食事をしました。最初は反対でしたが、何回もお店と打ち合わせを重ね、車いすの安全性も確保できるからとの熱意に押し切られました。



右は理事長夫人の柳由紀子氏。会長が大切にしていた「地域の皆様とともに」の精神を引き継ぐ

王子ネピア株式会社
代表取締役社長
清水 紀暁

「今日は当社の介護用おむつパッドの機能を褒めていただきました。おむつやパッドは、ご利用者様や介護される方により快適にお使いいただけるよう改良を続けております。今後も長くご愛顧いただけるものをお届けいたします」



医療法人柳育会
専務理事
柳 徳枝氏

「私が企画したメディカルフィットネススイートは、医療と連携したフィットネスです。ゴルフ、マラソンなど会員の皆様のコミュニティでも楽しく運動している様子がとてもうれしく、これからも地域の皆様の健康をサポートしていきます」

べてみたいというのは、大きな楽しみですから。柳 そう、その気持ちで満たすことの大切さを教えられました。皆さん、ものすごくいい笑顔で帰っていらして、次は有名なとかつ屋さんに行きたいんですって(笑)。ほかにメイクイベントなども予定しています。清水 とても有意義な試みですね。柳 そういえば、看護や介護の現場から「王子ネピアさんのパッドの吸収力が高いので、夜間帯のおむつ交換が一回減りました」と聞いたので、清水さんにお伝えしなくてはと思っていました。清水 心強いお言葉までいただき、本日はありがとうございました。